


令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章	 <b>都立羽村特別支援学校</b> 知的障害		基	通学区域	青梅市、福生市、東大和市、武蔵村山市、羽村市、立川市(西砂町、一番町)、瑞穂町、奥多摩町			
	松林のある豊かな教育環境に恵まれた 小中高一貫教育校			進路実績	企業就労率39.4%【主な就労先: パソナハートフル、東京ロジファクトリー、東京側の機材、東電ハミングワーク、スワロートラック、国立あおやぎ苑等】			
基	所在地	〒 205-0011 羽村市五ノ神319番地1	電話番号	042-554-0829	本	教育課程の特徴	①	キャリア教育を推進、児童・生徒の社会参加の機会の拡大
	アクセス	(1) JR青梅線 羽村駅東口 徒歩25分 (2) (立川バス)長岡循環 箱根ヶ崎行「緑ヶ丘三丁目」下車徒歩4分 (3) JR八高線 箱根ヶ崎駅 徒歩25分		②			家庭と連携した基本的な生活習慣に関する指導の徹底	
本	設置学部	小学部、中学部、高等部		情	副籍実施状況	③	職業教育の充実	
	幼児・児童生徒数	438名(小学部154名、中学部91名、高等部193名)※4月1日現在					④	外部専門員(OT・PT・ST・臨床発達心理士、ICT専門家等)との連携による指導の充実
報	学級数	79学級(小学部32学級、中学部18学級、高等部29学級)※4月1日現在		報	学校評価	⑤	スポーツ、文化等活動の機会拡大、自己を表現する活動の充実	
	スクールバス	11台(大型5台、中型4台、小型2台)				副籍実施状況	副籍交流129名実施(内直接交流:58ケース実施)	
その他				ホームページ	<a href="http://www.hamura-sh.metro.tokyo.jp/">http://www.hamura-sh.metro.tokyo.jp/</a>			

目指す学校 **キャリア教育を推進し、生きる力を育てる  
児童・生徒が自己の価値についての意識を十分に発達させ、地域社会の一員として生きる力を育み、自立と社会参加を支援する学校**

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>学習指導</b> ●教育課程プロジェクトによる新学習指導要領に合わせた教育課程【羽村の学び】の検討とカリキュラム全体の見直し ●研究授業等の奨励(全員研究授業の実施) ●根拠ある指導のためのアセスメントの実施と個々の実態の共有		
目標②	<b>生活指導</b> ●人権尊重教育推進校2年目として、プロジェクトによる具体的な取組と公開研究発表会の実施 ●安全対策・事故の未然防止のためのヒヤリハット事例の収集・分析 ●体罰防止と基本方針に基づいたいじめ防止・早期発見対応		
目標③	<b>進路指導 その他</b> ●小学部、中学部における「日常生活の指導」の手引きを活用したライフキャリアへの取組 ●高等部における「就労準備チェックシート」を活用したワークキャリアへの取組 ●専門性向上事業への取組(福生市・東大和市)		

数値目標	今年度の数値目標の内容	29年度		30年度		31年度		今年度		03年度	04年度	05年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	高等部卒業生全体の企業就労率 30%以上 企業就労希望者就労内定率 90%以上	30.0	33.8	30.0	32.3	30.0	39.4	30.0				
目標②	全員研究授業の実施 200回以上	150	175	150	177	170	214	200				
目標③	学校ホームページ更新回数 年間120回以上	80	107	100	102	110	110	120				

「今日の一步が光を招く 確かな一步が未来に続く」

# 都立 羽村 特別支援 学校

『キャリア教育を推進し、生きる力を育てる』

態度の育成

ひと回り成長する自分へ

変えていける自分へ

→いつでも、どこでも、だれとでも

かけがえのない自分づくり

→なりたい自分にチャレンジ

できる喜びを自信に変えて

→わかった、できた、よし次も

失敗できる環境づくり

ワクワクする授業づくり

『大切にしたい3つのキーワード』

わかりやすさ

- ・見える化 構造化 分かる授業
- ・保護者・地域への説明と発信

たしかさ

- ・根拠ある指導 指導に活かすアセスメント
- ・外部専門家の活用 専門性の向上
- ・新学習指導要領への移行と準備

こちよさ

- ・安心・安全 居場所 あたたかさ
- ・多様性の尊重 自己表現 自己決定
- ・達成感 良好な人間関係



## 小学部

学校生活が始まる最初の学部として、「学校が大好きになる」「学習や遊びに意欲的に取り組む」ことを大切にしています。

生活リズムを整え日常生活に必要な力を身に付けることや、見通しをもって行動すること、人との関わりやコミュニケーションの力を伸ばすことを大切に実践を重ねています。



## 中学部

身辺自立の更なる向上を目指すとともに、様々な活動をとおして、体力や運動能力を高める取り組みをしています。

国語・数学の学習では、培ってきた基礎的な力をのばし、日常生活の中で実際に活用できる力を育むことを大切にしています。作業学習では、生徒一人一人が自信をもって取り組み、働く喜びや楽しみを味わえるよう工夫しています。



## 高等部

生徒一人一人に合わせた卒業後の社会参加と自立を目指し、作業学習を多く取り入れています。学校で学んだことが、地域や社会で発揮できるように、インターンシップ（職場体験）や現場実習での体験を重ね、自信を付けていきます。

第2学年からは教育課程の類型化を行い、より実態に応じたカリキュラムで学習しています。また、放課後の部活動も盛んで、多くの生徒が参加しています。

